

報道写真記者と広告写真家の比較作品展

2022年10月5日(水)～31日(月)

主催:公益社団法人日本広告写真家協会(APA)、朝日新聞社、共同通信社、神戸新聞社、

産経新聞社、毎日新聞社、読売新聞大阪本社 / 後援:京都市

協力:ダイヤモンド株式会社(ピクトリコ)

ディレクション&コピー:田中有史

会場:京都市四条通地下道

11～12番出入口間(四条富小路-麩屋町通間)

アクセス:阪急電鉄京都河原町駅/京都市営地下鉄四条駅

お問い合わせ:

(展示物)公益社団法人日本広告写真家協会 関西支部 06-6767-3520

(会場)京都市都市計画局 歩くまち京都推進室 075-222-3483



「アウトカット」吉川幸安・日本広告写真家協会



体に刻んだ「大切な人たち」山崎一輝・毎日新聞社



「舞妓」木村光宏・日本広告写真家協会



「望郷」矢木隆晴・朝日新聞社



「puzzle」岡本卓也・日本広告写真家協会



「その夜の睡り子」松田優・共同通信社

誰が撮っても、同じじゃない。

広告写真家も報道写真記者も、どちらもアーティストではない。職業カメラマンである。作品を撮っているのではなく、仕事の写真を撮っている。ということは、広告主の意向やディレクターの指示、社の方針や上司の命令というものがあるはずだ。

制約。それが、アマチュアカメラマンとの決定的な違いである。では、そこにはまったく自己表現やじぶんのカラーというものはないのか、じぶんというものを出せないのか。そんなはずはないだろう。それでは、写真撮影は単にお金を得るための手段に過ぎないじゃないか。じぶんが感じたままに表現するという、表現の本質が存在しないじゃないか。プロカメラマンとは技術を切り売りするだけの仕事なのか。表現というクリエイティブな仕事をしていないのか。そんなはずはない。好きでその世界に入り、好きだからずっと続けている。仕事で撮る写真にも、「これがじぶんの写真だ」と言いたい個性を表出させているはずだ。制約を突破して、じぶんを出してこそプロであるはずだ。そうでなければ、プロとしての矜持はないだろう。そうであるはずだという想いから、今回のテーマが生まれた。

これは、「誰が撮っても、同じじゃない」を世に問う写真展である。

コピーライター・田中有史

関連セミナー(トークイベント)

2022年10月23日(日) 17時

毎日新聞京都支局ホール

詳細は裏面

報道写真記者と広告写真家の比較作品展公式 Twitter です。

<https://twitter.com/HikakuSakuhin>
展覧会やセミナーの最新情報はこちら



報道写真記者と広告写真家の比較作品展 京都展セミナー

「誰が撮っても、同じじゃない。」

報道写真記者・広告写真家による
トークセッション

好きな京都、 苦手な京都。

2022年10月23日(日)

17:00 - 18:30 (開場16:30)

※後日収録配信も予定しています。

入場無料・定員30名 (申し込み制)

会場：毎日新聞京都支局 7階ホール
京都市上京区柵屋町 354-2 (河原町丸太町上ル西側)



木村 充宏 - 日本広告写真家協会



山崎一輝 - 毎日新聞社

セミナー申込フォーム

<https://forms.gle/keKuZVdB9NLvpKit7>



定員は先着30名です。
定員に達した時点で、募集を終了させていただきます。
後日YouTubeにて収録配信を予定しております。

公式 Twitter

<https://twitter.com/HikakuSakuhin>



報道写真記者と広告写真家の比較作品展
公式Twitterです。
@HikakuSakuhin
展覧会やセミナーの最新情報を投稿。

「誰が撮っても同じじゃない」というテーマでの写真展、
そもそも仕事に「個性」って必要なんですか。
組織や制約の中で仕事するとき、邪魔になるもの？
それとも、プロの仕事には必要不可欠なもの？

パンデミックや紛争や災害・・・これまでなら考えられない
ことが起きているこの時代に、写真というメディアは今、
世の中から何が求められているでしょうか。
わたしたちの仕事、原点に立ち返って、考えてみます。

トークでは「好きな京都、苦手な京都」と題して、京都で
のお仕事のエピソードを交えてお話を展開します。
質問等も受け付けますので、写真家・写真記者を目指す方
もぜひご参加ください。

土井 繁孝

産経新聞大阪本社 写真報道局 局次長



平成4年産経新聞大阪本社入社、写
真部配属。5年に地方部神戸支局、6
年大阪本社写真部、17年大阪本社社
会部へ異動。19年より大阪本社写真
報道局。現在は写真報道局・局次長。

総司会

田中 有史

クリエイティブディレクター／コピーライター



同志社大学法学部法律学科卒業。広告
代理店・制作会社を経て独立。神戸親
和女子大学客員教授・元「広告論」非
常勤講師。大阪コピーライターズ・クラブ
顧問。宣伝会議「コピーライター養成講座」
講師。広告賞の受賞／主要広告年鑑へ
の掲載多数、セミナー／講演など多数。

ファシリテーター

木村 充宏

スタジオ KOZO / 日本広告写真家協会 正会員



1964年京都市生まれ。
京都市立芸術大学卒。
二条城の近くのスタジオで広告写真を中
心に活動中。
一社) 二科会写真部会友

広告写真家

広告写真は広告主の依頼に基づき広告媒体に使用する写真を
撮影する。広告媒体とはポスター、新聞、雑誌、パンフレット、
web 広告、SNS、HP コンテンツなどを指し、最近は動画を撮影
することも多い。

山崎 一輝

毎日新聞大阪本社 写真部 / 写真記者 / 京都駐在



1982年愛知県生まれ。広告代理店動
務やジャーナリストのアシスタント
などを経て、2009年毎日新聞社入社。
奈良支局、大阪本社写真部、20年
冬から現職。京都の伝統行事や事件
事故、裁判などを取材。

報道写真記者

写真記者(報道カメラマン)は、事件や事故、時事ニュース、
ルポルタージュなどを取材するカメラマン。新聞社や通信社、
出版社などに所属する人や、フリーで活動する人もいる。新聞
社や通信社のカメラマンは社会部や文化部などからの撮影依頼
が多く撮影領域は多岐にわたる。

毎日新聞京都支局へのアクセス

- 京阪電車・神宮丸太町駅より徒歩6分
- 京都市営地下鉄・丸太町駅より徒歩11分

セミナー・展示お問い合わせ先
hikaku.sakuhinten@gmail.com